

真夏の夜の風物詩

吉野川まつり

五條の夏の風物詩、第35回吉野川祭りが8月15日、16日の両日、吉野川の河川敷を中心に行われ、市内外からたくさん見物客が訪れました。

大川橋付近の吉野川河川敷には、夕暮れとともにたくさんの家族連れや若者たちであふれ、夏を彩る恒例の花火大会では、二日間で三千発の花火が打ち上げられ、観客を魅了しました。

また今回、ダンスイベント「南都乱舞～みだれまい～」が開催され、近畿各地から21のダンスチームが参加。市内の各会場で自慢のダンスを披露し、吉野川祭りに花を添えました。

上野公園で行われた少年野球大会では、五條ドンキーズが優勝しました。



五條ドンキーズ



南都乱舞～みだれまい～

吉野川を美しく

吉野川マナーアップキャンペーン

奈良の大切な水源である美しい吉野川を守るため、五條市を含む県内の吉野川流域市町村で8月6日「吉野川マナーアップキャンペーン」が実施され、川原のゴミ拾いなどを行いました。

五條市では、吉野川大川橋付近の両岸が会場となり、櫻市長をはじめ市、県の関係者、市民などがキャンペーン用のTシャツを着用し、清掃活動に参加。「大事な吉野川をみんなで美しくしましょう」と呼びかけました。



魚のつかみ取り

森と湖を見直すきっかけに

サマーレイクフェスティバル2006

「森と湖に親しむ旬間」期間中の7月30日、サマーレイクフェスティバル2006が大塔ふれあい交流館で開催され、市内外からたくさん見物客が訪れました。

会場では、ザ・ぼんちの漫才やキャラクターショー、また手作り木工教室や魚のつかみ取りなどが行われ、訪れた市民は自然とのふれあいを楽しみました。

花咲寮で慰問会

五條ロータリークラブ

このほど養護老人ホーム花咲寮で、入寮者への慰問が行われました。これは、五條ロータリークラブ（石井光洋会長）が入寮者に楽しんでもらおうと、昭和38年から物故者供養の後歌手や芸人を招き毎年行っているものです。

今回は荒井敦子さんとまつぼっくり少年少女合唱団によるコンサートを開催。奈良のわらべ歌などを楽しみました。

